

昨年度における企業伴走支援の具体例 ～ジュネーブでのセミナー及び展示会支援等

株式会社野村総合研究所

2025年6月3日



①寿府代との共催セミナー概要

本事業初の試みとして、寿府代と共同で国際機関及び低中所得国代表部を対象に、日本の革新的な医療機器・医薬品を紹介する昼食会形式のセミナーを実現した

- 本事業で作成したコンセプトノートをもとに、寿府代と協議を重ねて、「Informal buffet lunch gathering」という形式で実施することを決定。下記の案内を寿府代から国際機関及び低中所得国代表部へ送付。

コンセプトノート案

セミナー「(仮題) 革新的な医療機器・医薬品を活用したグローバルヘルス課題解決セミナー」(2024年10月22日(火)予定)の開催について

1. セミナーの目的・趣旨

- UNICEF 等国連調達市場は医療分野で6,000億円規模(2020年)。日本はこの分野の取組は遅れている(約30億円、2020年)が、他国は新興国・途上国市場参入の足がかりとして積極的に活用している。
 - 参考 □国別シェア(医療分野、2020年): 米13%、仏6%、独4%、英2%、韓3%、中13%、日0.5%
- 国連調達市場での日本企業の低プレゼンスは、日本企業の事業機会の観点だけでなく、低所得国が日本企業による革新的な医療機器・医薬品を、現地の医療やヘルスケアに関する課題の解決に十分活用できないという点からも大きな課題と考えられる。
- こうしたなか、厚生労働省は令和4年度から「国際機関の調達枠組を活用した医薬品・医療機器産業等の海外展開促進事業」を開始し、革新的な製品やソリューションを持つ日本企業の国連市場への参入の後押しをしている。
- 令和5年度からは、ジュネーブで開催される世界最大規模の援助機関関連イベントである「AidEx」に厚労省として参画し、その際に革新的な製品を持つ日本企業の展示を実現させている。なお、その際に厚労省及びAidEx出展企業はジュネーブ代表部に表敬訪問し、招待を受けた在ジュネーブの国際保健機関の日本人職員との交流といった貴重な機会をジュネーブ代表部から頂いている。
- 令和6年度においては、日本企業の革新的な医療機器・医薬品を、より直接調達を行う国際機関関係者や低所得国の各国代表部関係者などに提示し、ひいては日本企業による革新的な医療機器・医薬品の理解を国際機関関係者や低中所得国関係者が深め、より多くの日本製品の調達とともに、こうした製品やソリューションによるグローバルヘルス課題の解決につなげる機会として、本セミナーの開催を企図している。
- 本事業では、令和5年度及び6年度において、STOP TB事務局長をはじめ同機関関係者の来日に合わせて、東京で製薬メーカー及び医療機器メーカー向けに国連市場に参入し、革新的な製品をもってグローバルヘルスに関する低中所得国の課題解決を促すセミナーを開催しているなか、当初はグローバルヘルスキャンパス内でSTOP TBとの共催でのセミナーを検討していたところ、このたびジュネーブ代表部より会議室の提供及び参加の呼びかけの支援可能性についてお示し頂いたことから、本コンセプトノートによりセミナーの開催の背景、また想定している発表内容や、招待客について提示するものである。

Invitation to Innovative Japanese Healthcare Solutions

-informal buffet lunch gathering-

Co-hosted by the Japanese Ministry of Health, Labour and Welfare and the Permanent Mission of Japan to the International Organizations in Geneva

Date & Time: October 22, 12PM

Location: the Permanent Mission of Japan

***Lunch buffet (Japanese cuisine) will be provided.**

Join us in exploring innovative solutions to global health challenges!

We invite you to participate in a special gathering focused on the critical role that innovative medicines and medical devices can play in addressing healthcare challenges in low- and middle-income countries.

Key Topics:

- Ministry of Health, Labour and Welfare's Initiative to achieve UHC through private sector solutions
- Use Cases for Innovative Healthcare Solutions

What to Expect:

- Live Demonstrations of cutting-edge medical devices and diagnostic innovations.
- "Product Catalogue for Solutions to Global Health Challenges" will be provided.



RSVP: ipp@nri.co.jp

Please include your name, organization, department, and title in your response.
Seats will be provided by first come first served basis subject to availability.

①寿府代との共催セミナー概要

国際機関及び低中所得国代表部の関心は高く、会場定員を考慮すると最大規模である47名の登録があり、寿府代によれば9割を超える参加を得た（下記はセミナー登録者）

	肩書及び所属		肩書及び所属
1	Second Secretary, Health attaché Permanent Mission of the Republic of Paraguay	11	Second Secretary, Health attaché Permanent Mission of the Republic of Paraguay
2	Head, New Investors, Gavi	12	Head, New Investors, Gavi
3	Senior Manager, Private Sector Partnerships and Innovation, Gavi	13	Senior Manager, Private Sector Partnerships and Innovation, Gavi
4	Senior Donor Manager, New Investors, Gavi	14	Senior Donor Manager, New Investors, Gavi
5	Head of the External Relations Unit, Gavi	15	Head of the External Relations Unit, Gavi
6	Humanitarian Response division, UNFPA	16	Humanitarian Response division, UNFPA
7	Humanitarian Supplies Analyst, Humanitarian Response division, UNFPA	17	Humanitarian Supplies Analyst, Humanitarian Response division, UNFPA
8	Ambassador, Permanent Representative of Mauritius	18	Ambassador, Permanent Representative of Mauritius
9	Deputy Permanent Representative, The Permanent Mission of the Republic of Zambia	19	Deputy Permanent Representative, The Permanent Mission of the Republic of Zambia
10	Health Specialist, World Bank	20	Health Specialist, World Bank

①寿府代との共催セミナー概要

セミナー登録者（続き）：国際機関高官としてはSTOP TBのDitiu事務局長が、大使としては、モーリシャス代表部大使及びガンビア代表部大使の参加があった

	肩書及び所属		肩書及び所属
11	Associate Specialist, Private Sector Engagement, Global Fund	21	Chief of Public Health Section, Division of Resilience and Solutions, UNHCR
12	Associate Specialist, Donor Relations Department, Global Fund	22	Principal Coordinator, Supply Management Service, Division of Emergency, Security and Supply, 26me
13	Executive Director, STOP TB Partnership	23	Supply Chain Officer, IOM
14	Team Leader, Innovations and Grants, STOP TB Partnership	24	Senior Programme Officer, Health Promotion & Assistance, IOM
15	Advocacy Officer, Advocacy & Communications, STOP TB Partnership	25	Migration Health Associate, IOM
16	Technical Advisor, STOP TB Partnership	26	Head of Private Sector Partnerships Unit, IOM
17	First Secretary/Consul, Permanent Mission of Jamaica	27	Trade attaché, the Permanent Mission of Central African Republic
18	Permanent Mission of Mexico	28	Health attaché assistant, the Permanent Mission of Central African Republic
19	Counsellor, Permanent Mission of Bangladesh	29	Corporate Alliances Specialist, Private Fundraising and Partnerships Division, UNICEF
20	Second Secretary - Health Attaché, Permanent Mission of Ecuador	30	Corporate Alliances Officer, Private Fundraising and Partnerships Division, UNICEF

①寿府代との共催セミナー概要

セミナー登録者（続き）：調達規模が大きな機関としては、UNOPS、UNICEF、WHOのほか、Global Fund、Gaviからの参加があった

	肩書及び所属		肩書及び所属
31	Counsellor, Health, Permanent Mission of Canada	40	Procurement Officer, Advisory Services, UNOPS Geneva
32	Healthier Populations, WHO	41	Health Counsellor, Permanent Misson of Malaysia
33	Health Diplomat, Permanent Mission of Ethiopia to the UN Office in Geneva	42	Counsellor of the Permanent Mission of Georgia.
34	Ambassador and Permanent Representative, Permanent Mission of The Republic of The Gambia to The United Nations Office,	43	Senior Officer, Logistics, Procurement and Supply Chain Management, International Federation of Red Cross and Red Crescent Societies
35	Consejero/Counsellour, Misión Permanente de Guatemala ante las Naciones Unidas en Ginebra, Suiza	44	First Secretary, the permanent mission of Guinea
36	Senior Resource Mobilization Officer, Unitaid	45	Operations Coordinator for Asia and the Pacific, International Committee of the Red Cross (ICRC)
37	Minister-Counsellor(Global Health), Permanent Mission of the I.R. of Iran	46	Ambassador, Deputy Permanent Representative of Panama
38	Portfolio & Partnerships Manager, Advisory Services, UNOPS Geneva	47	Health Counsellor, Permanent Misson of Malaysia
39	Procurement Officer, Advisory Services, UNOPS Geneva		

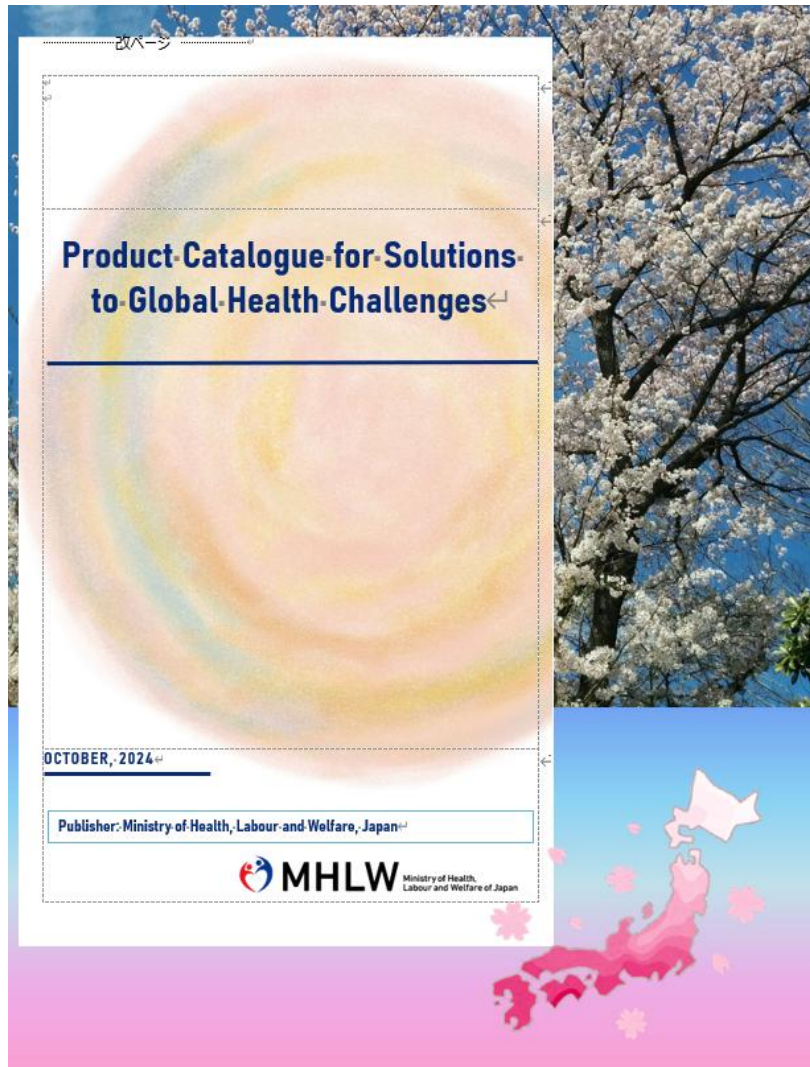
①寿府代との共催セミナー概要

セミナーは、大使挨拶に始まり、展開室長による本事業の紹介と本セミナーのねらいの説明、その後事務局による各プレゼンの背景説明、次いで各社の製品紹介プレゼンの流れで進んだ

1. Greeting from by Ambassador
2. Presentation by the Director of the Office for Global Strategy of Medical Service and Health Industry, MHLW
3. Presentation on Necessity of innovative pharmaceuticals and medical equipment by Nomura Research Institute
4. Presentations from companies
 - FUJIFILM
 - Toyota Tsusho Corp.
 - OUI Inc.
 - TAUNS
 - Takeda Pharmaceuticals
 - NTT data
5. Buffet lunch & networking
 - *Each company is provided one table to present their products services.
6. Closing

①寿府代との共催セミナー概要

セミナーのゲスト全員に、2024度版として更新した調達有望製品カタログと、そのダウンロードQRコードが記載された名刺を配布した



①寿府代との共催セミナー概要

セミナーは、大使挨拶に始まり、展開室長による本事業の紹介と本セミナーのねらいの説明、その後事務局による各プレゼンの背景説明、次いで各社の製品紹介プレゼンの流れで進んだ



①寿府代との共催セミナー概要

各社のプレゼンについては、壇上で製品の実演を交えて実施されるなどし、国際機関や代表部のゲストから、プレゼン中に投影資料の撮影が頻繁に行われるなど高い関心が示された



①寿府代との共催セミナー概要

各社プレゼン後は、日本食の立食をしつつ、各社が設けたブースでゲストが製品デモンストレーションを体験したり、詳細の質疑応答を各社と行った



①寿府代との共催セミナー概要

セミナーの終了後、寿府代のXアカウントより本会についての情報発信が行われた



①寿府代との共催セミナー概要

本セミナーをきっかけとして、OUI Inc.社からは、複数の代表部と同社製品の実証に向けた話が進んだことや、国際機関に同社製品を紹介できたとの報告が下記の通りあった

- Smart Eye CameraやOUI Inc.の取組に、国際機関・各国の代表部ともとても共感して下さり、私たちの取組を知って頂くとても良い機会となりました。
- 現在直接的な形で眼科領域に関わっていなくとも、ヘルスケア領域で各国で活動されている方々に、こういった形でOUI Inc.の活動を知って頂き、認知して頂き、応援して頂けるようになるのは、中長期的に非常に重要だと考えており、素晴らしい機会を頂けたことに感謝しております。

○国際機関：

- 現時点で関わられているプログラムで直接接点があるプログラムはないものの、Smart Eye Cameraの取組についてはとても共感して頂き、機関内で取り組みをシェアして下さるとのことでした。

○各国代表部：

- メキシコのDr. Antonioは私たちのメキシコでのパートナーである眼科医の先生のことをご存知でした。
- パナマのMs.Abgailも、メキシコやブラジルでの私たちの取組を聞いて、是非パナマでもパイロット実証を進めたいとのことで、今後とも継続してやり取りを行うことになりました。
- 中央アフリカ代表部のお二人も、私たちのアフリカでの取り組み（特にDRCやセネガル、ナイジェリアなど中央アフリカでの周辺国での取り組みに特に興味を持って下さり、中央アフリカでも何か実証がスタートできるように、国内の医療機関でパートナーになってくれそうなところを探してみますと仰ってくださいました）

①寿府代との共催セミナー概要

タウンス社からは、同社が開発中製品について、今後の臨床評価試験のサポートに協力的なメッセージをくれた機関や、一社ではコンタクトできなかった国際機関と接点を得られたとあった

成果：

- ① WHO TB Programme を始め、IOM, Unitaaid, Stop TB partnership, Global Fund, UNICEFなど国際機関の方々がブースを訪れてくださり、開発中のdigital Immuno Assay-TBに強い関心を示し、その中には今後の臨床評価試験のサポートに協力的なメッセージをくださる機関もあった。
この背景には、WHOの推奨品であるCapilia TB-Neoの製造販売業者としての信頼があったと思うが、それ以外にも日本政府が主催したセミナーに参加している企業としての信頼があったと推測された。
- ② 今までの経験上、一企業が国際機関に向けたプレゼンやP Q 取得に向けた相談でアポイントの取得は簡単ではない。しかし、厚生労働省／ジュネーブ代表部が連携したセミナーという事で、多数の国際機関の方々が来賓された。これら方々にプレゼンできたことは大きく、さらに開発品を国際公共調達に向けた課題点の整理ができた事は有益であった。
- ③ セミナー終了後に会食を設けることで、企業と交流できる時間的な効果は大きい。素晴らしい日本食でもあり、来賓者の帰路する足をとどめ、我々も時間をかけて打ち合わせできた。
- ④ 今回の企業参加者は、予防(ワクチン)、診断(画像診断、検査薬)、治療、ロジ、通信など幅広い分野の企業が参加されていた。これにより、幅広い国際機関の関係者に訪問する機会を与えているのと同じで、50名程度の参会者となった。

①寿府代との共催セミナー概要

富士フィルムからは、医療機器の調達額がトップクラスのUNICEFとのコンタクトが、本セミナーで初めて実現したことや中央アフリカ代表部と商談が実現したことについて報告があった

1. 主な来訪者

①UNICEF、②Permanent Mission of Central African Republic、③STOP TB、④IOM

2. 個別トピック

①UNICEF：

- 先方からは、当社がアフリカで児童向けの巡回検診を行っている様子に興味を持って頂け、日本のUNICEF事務所や、調達部のメンバーなど交えて後日打合せを行う事で合意した。
- （UNICEFは医療機器の調達額では国連でもトップクラスと認識しており、当社は以前よりコンタクトを希望しており、大変助かりました）

②中央アフリカ：

- 「医療水準が非常に低く、資金も乏しい、ポータブルX線をどうすれば同国に持ち込めるとするか？」という同国代表部からの相談を受けた。
- Global Fund からの資金が同国にも割り振られているため、MOHから同ファンドへTB用途での機材調達申請をするよう促し、後日具体的な進め方を協議するための連絡を頂く事となった。

①寿府代との共催セミナー概要

豊田通商からは、クローズドなセミナーでの国際機関等との接点を得られたことへの意義が報告されたとともに、国際機関側から日本側への期待を聞くような構成に関する示唆があった

- クローズドなセミナーのため、国連機関等、厳選された関係者に一度にプレゼン、面会できるという点は非常によかったです
- 当社としては新しいつながりもありましたが、どちらかといえば日々の関係者と面着で一度にお会いする機会となり（unops, iom, unicef, stop tb等）有意義でした
- また他社様の製品紹介なども聞くことができ、参考になりました
- また開催される場合は、こちら側からの発信ではなく、例えば各機関の簡単な紹介やお困りごと、日本側への期待などをお伝えいただくような形、国際機関側からも講演頂くのもいいかと存じます。

②AidEx2024参加概要

他にも各国の官民連携ブースが多数あったなか、革新性に焦点をあてた差別化と、昨年と同じアクセスの良い位置や「JAPAN」の吊り看板等の効果もあったか、多数の来訪者を迎えた

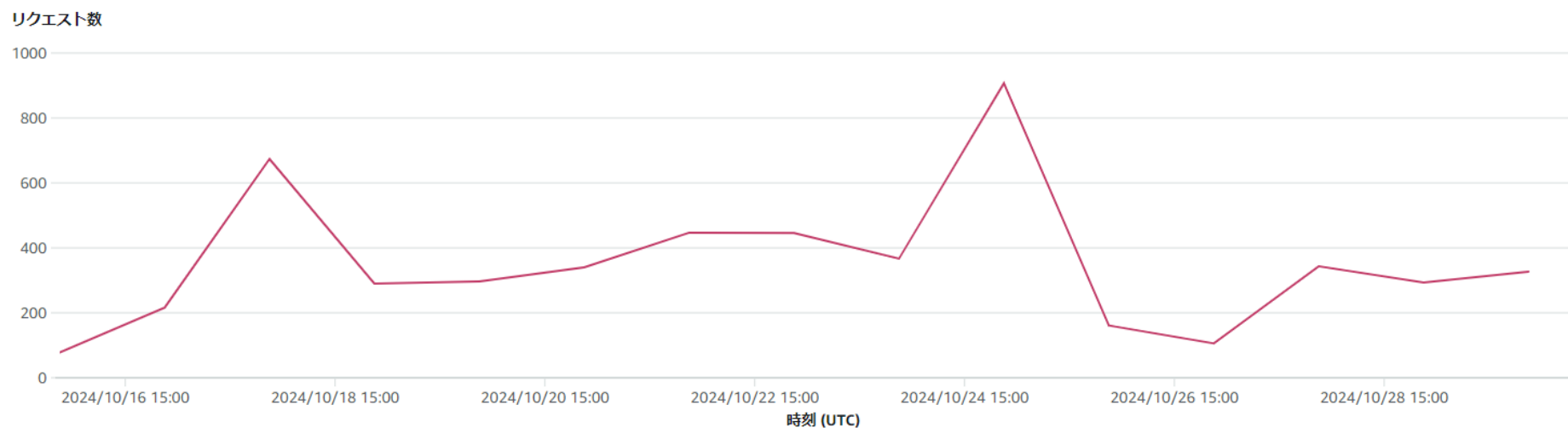


②AidEx2024参加概要

前日の寿府代でのセミナーと同様、カタログとQRコード名刺をブースで配布した。カタログのウェブサイトへのアップ以降、カタログはAidEx最終日の24日に最大アクセス数907をカウントした

■ 次いで高いアクセスはウェブサイトへのアップをメルマガでアナウンスした10月17日（約700カウント）。

■ 配布を行ったセミナーとAidEx初日についても400カウント台の高いアクセスがあった。



— HTTPS リクエスト数

リクエスト

リクエスト	▼	合計	▼	平均	▼	最小	▼	最大	▼
HTTP リクエスト数		2,438		163		7		571	
HTTPS リクエスト数		5,292		353		78		907	
すべてのリクエスト		7,730		515		100		1,421	

②AidEx2024参加概要

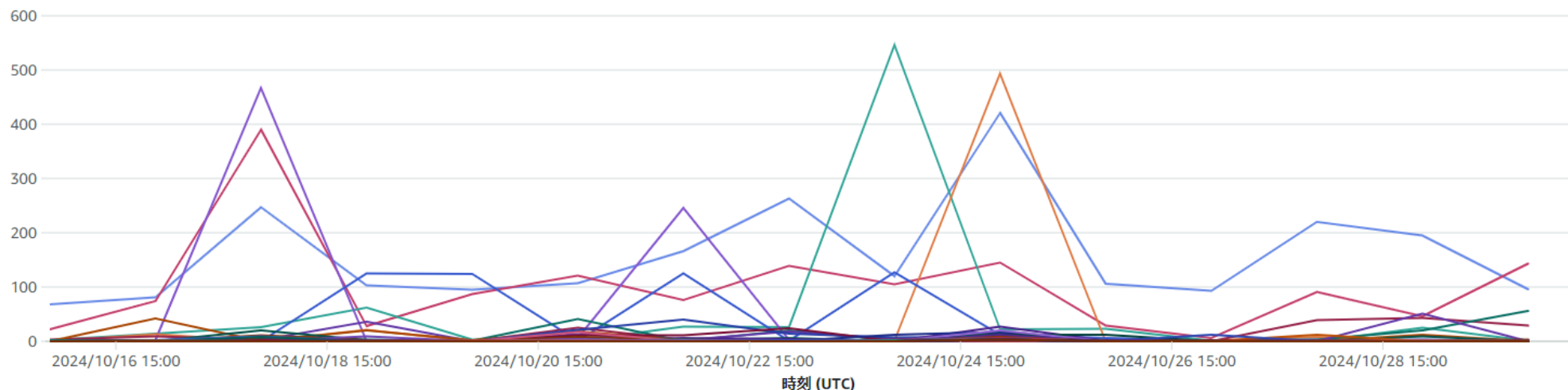
アクセスがあったロケーションは、アクセスしたサーバが同国内ではなく近隣国や経由国である場合も多いが、概ねセミナー及びAidEx中は欧州からのアクセスが最も高い結果となった

- ウェブサイトへのアップをメルマガでアナウンスした10月17日は日本、米国、アイルランドからのアクセスが多かった。
- セミナーとAidEx期間においては、ドイツが最も高かったほか、スイスについても確認された。

表示データをフィルタリング

データをフィルタリング ▼

傾向



United States Japan Germany Ireland Australia China India Singapore Netherlands France Switzerland Canada United Kingdom Spain Vietnam Turkey
Hong Kong Latvia Italy Sweden United Arab Emirates Bulgaria Ukraine Indonesia Norway Poland Austria Belgium Mexico New Zealand Bangladesh Brazil
Finland Thailand Colombia Korea, Republic of Saudi Arabia Estonia Malaysia Romania Russian Federation Taiwan Albania Bolivia, Plurinational State of Denmark
Ecuador Kazakhstan Moldova, Republic of Peru Uzbekistan

②AidEx2024参加概要

各社の展示スペースには、前日のセミナーでデモを行った国際機関の担当者が来訪して改めて詳細の説明を受けたり、新規で援助機関等からの調達に向けての訪問が多数あった



②AidEx2024参加概要

各社の展示スペースには、前日のセミナーでデモを行った国際機関の担当者が来訪して改めて詳細の説明を受けたり、新規で援助機関等からの調達に向けての訪問が多数あった



②AidEx2024参加概要

富士フイルム社からは、AidExへの参加が、調達を行う国際機関との連携や対話の貴重な場となっていることを評価し、今後も本事業を継続への要望が報告された

○前年のAidExも含めた本プロジェクトにおける弊社所感について

- 国連機関については企業との個社面談が非常に難しい中、政府ブースの設置を通じた、複数機関へのコンタクト開拓が進み、大変ありがたく感じております。
- 弊社はかねてより国連調達の攻略に試行錯誤しておりましたが、AidExや一連のイベントを通じて、主に以下のような成果を挙げることができました。

○Stop TB やGlobal fund との連携強化：

- 平素より竹中先生には結核に関する活動にてアドバイスを頂戴しておりますが、AidEx を通じて、本部事務所や各部メンバーと直接のディスカッションが格段に進みました。
- Stop TB ルチカ代表には、ご来日時に弊社CEOの後藤を訪問頂くなど、良い関係性が構築出来ております。
- WHOやGlobal fund が、ポータブルX線や結核終息に向けてどのような戦略・課題意識を持ち、日本企業にどのような期待感を持っているのか具体的に議論する事ができております。

○その他国際機関とのコンタクト開拓

- IOM やUNICEF、UNOPS などの機関についても、これまでは各国事務所と個別案件で接点はあったものの、本部組織や調達部とのコンタクトが獲得出来た事はAidEx 関連イベントに大変ありがたさを感じております。
- 国連機関は、組織ごとに調達の仕組みや組織構成、ポリシーなどが異なるため、個別対話が必要なため、今後も継続的な対話ができるよう、引き続き機会があればありがたいです。

②AidEx2024参加概要

AidExの取材チームにより、厚労省ブースが取材を受け、展開室長が対応した。
また、厚労省が参加企業を伴って各国援助機関等に訪問を行い、意見交換を行った



②AidEx2024参加概要

昨年と同様、官民連携で製品を紹介する各国ブースが目立った。日本以外に、イギリス、ノルウェー、デンマーク、フィンランド、サウジアラビアのブースがあり、援助関連製品等の展示があった



②AidEx2024参加概要

事務局の野村総合研究所は各国際機関や援助機関、調達支援組織、商社・キッター・ロジスティクス会社等を訪問してヒアリングや今後の連携可能性の意見交換を実施した

国連訓練調査研究所（UNITAR）

- 低中所得国の能力開発支援を行う国連機関。
- 本事業について高い関心があり、連携可能性について意見交換を行いたい旨の打診があった。帰国後にオンライン会議を予定している。

国際連合人口基金（UNFPA）

- 去年のAidEXにおいて、コンドームのLTAについて日本企業の参入を促すため、情報提供頂いたことについて御礼。
- 改めてコンドーム工業会からのフィードバックについて伝える。
- また、UNFPA側から、今後も日本企業の参入が期待される予定調達について本事業に連絡を続ける旨話があった。

unimed

- 在イギリスのNGOで、調達機関と調達に対応する企業を仲介する組織と事前にやり取りをし、互いのブースを訪問する形で意見交換会を実施。
- 先方は中国企業との接点を強みとしているなか、革新的な医薬品や医療機器を扱う日本企業とのコンタクトがこれまで十分でなかったため、本事業との連携可能性について打診があった。帰国後にオンライン会議を予定している。



③STOP TB訪問概要

厚労省/STOP TB共催セミナーで連携したDitiu事務局長と、本事業でアドバイザーを務める竹中先生を厚労省が参加企業とともに訪問。訪問の様子はSTOP TBがSNSで情報発信



③STOP TB訪問概要

厚労省とSTOP TB事務局長とのその後の面談において、STOP TB側が対結核の民間連携策を検討中であり、その概要が示された。実現に向けて厚労省への協力要請があった

Name: Japan Private Sector TB Coalition

1. Purpose and impact:

- Programmatic: Early case finding, diagnosis and treatment of staff of private sector companies contributing to reducing transmission, reducing number of sick leave days and creating a healthy environment for the staff and workers of the companies
- Advocacy: Increase visibility for TB (disease and solution) through high level engagement of CEOs of the companies
 - launching campaigns, etc Ultimate impact: contribute to end TB

2. Modality:

Create an initial coalition of the willing with a core group of funding member companies that can

- develop the action plan for the coalition
- announce on an important date (World TB day, Stop TB Board, UNGA) the launch of their approach
- conduct peer searching for other companies and CEOs to join the effort

3. What is needed:

- an agreement to announce regular TB screening campaigns among their staff and all workers
 - Initial screening questionnaire and X ray
 - Referral for further tests
 - Treatment
- development of the process and steps to be done
- development of communication/educational materials for the staff and workers Etc

④WHO面談概要

寿府代の案内で、AidEx出展企業4社とともに、厚労省展開室長がWHO中谷ADGを訪問。
各種相談をそれぞれ実施した

- 中谷ADGに対して、厚労省からは新規でのWHOコンペディウム掲載候補企業の紹介とその面談の相談を行った。
また、事務局からは condom 工業会からの相談事項について紹介し、助言を得た。
- 各社からはそれぞれの企業が国際調達において直面している課題について提示があり、中谷ADGからそれぞれ助言や今後の連携について話が合った。



④WHO面談概要

また、寿府代とともに、厚労省展開室長がWHOのTB担当部局と面談を実施。TB向けソリューションを持つ企業として富士フイルムがプレゼンを実施し、その後意見交換を行った

- WHO TB部局からは、結核対応のための革新的な医薬品や医療機器の登場を歓迎する発言があるとともに、こうした製品の最新の動向を踏まえたガイドラインの修正とその発表について紹介があった。
- 同部局からは、ガイドラインは、結核の対応製品が、より遠隔、広範囲な患者ないし非発祥の感染者に対応できるものが増えていること、また検査薬についても、他の病気と合わせて診断が可能なものが出てきていること、そして結核治療薬についてもAMR対応をしているものの重要性が増していることを反映するとともに、子どもや女性など、より脆弱な立場にある人々へのアクセスがこれまで以上に可能かつ重要であることについて指摘があった。
- また、同部局からは、こうした革新的な製品がより手頃な価格で活用できるようにするための方策についての質問があり、またグローバルファンド等による資金配分において、結核の位置づけが低下していることを問題提起し、日本側の意見を求めた。
- 富士フイルムからは、同社は手頃な価格を実現するべく、日本以外での製造などの方策に長年取り組んでいることや、低価格な製品とすることが必ずしも工場設置国の雇用や所得向上につながらないことへの指摘があった。
- 日本政府からの結核向けの更なる資金支援の可能性については、寿府代から今後とも意見交換の対象とするとして引き取りがあった。
- また事務局から、費用対効果の高い結核対応とするためにも革新的な製品の重要性が増しており、かつ更新されたガイドラインの方向性に沿った結核向けの製品が富士フイルム以外にも掲載されているとして、改めて有望調達カタログの紹介を同部局に行った。

The text is framed by two decorative swooshes. The top swoosh is a gradient bar transitioning from blue on the left to red on the right. The bottom swoosh is a solid blue bar.

Share the Next Values!